

# 議会だより

あさかわ

No. 134

令和5年  
12月定例会

福島県浅川町議会



夢ある明日へ羽ばたけ！！

～ 令和6年 浅川町二十歳を祝う会 ～

補正予算を審議…………… 2  
条例改正の質疑…………… 4

一般質問 9人が問う …… 6  
議会活動報告…………… 15

追跡レポート…………… 18  
町民の声 近藤淳さん…………… 20

## 物価高騰支援

# 上水道料金減免

一般会計  
補正予算

### 一般会計補正予算

12月定例会は7日から11日まで会期5日間の日程で開催されました。江田町長が提出した令和5年度一般会計補正予算など15議案は、原案のとおり可決しました。

令和5年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ8957万円を増額し、総額を4億2617万円とするもの。

歳入の主なものは、国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金5807万円、マイナンバーカードへの氏名のローマ字表記等に係る補助金688万円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金430万円、個人町民税増収見込み695万円でした。

歳出では、物価高騰対応として低所得世帯へ支援金3360万円、上水道基本料金などを減免する補助金1500万円、中央公民館のエアコン交換工事費2350万円、教師用図書購入費691万円、通学バス運転業務委託料500万円が計上されました。

### ■主な補正の項目

(単位:万円、千円単位切り捨て)

#### 歳入

項目	補正額
物価高騰対応重点支援交付金	5807
マイナンバーカードへの氏名のローマ字表記等に係る補助	688
個人町民税	695
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	430

#### 歳出

項目	補正額
低所得世帯支援金	3360
上下水道料金減免補助金	1500
中央公民館エアコン工事	2350
小・中学校通学バス委託料	500
新型コロナワクチン接種会場設営委託料	400

## 水道料金の減免

### 〔質疑〕

**問** 水道の基本料金とメーター使用料が減免になるとのことだが1戸当たり、4か月でいくらになるのか。

**答** 水道未加入は、1戸4か月分5000円の補助金を交付する。

**問** 水道未加入が約50戸あるそうだが未加入はどのような扱いになるのか。

**答** 対象となる期間は、いつからいつまでか。

**問** 水道料金を滞納している世帯も減免の対象になるのか。

**答** 対象になる。

**問** 会社などの事業所については、最高額はいくらになるのか。

**答** 事業所は最高額で9万8560円となる。



水道使用量メーター

# 人 事

## 固定資産評 価審査委員

住 所

浅川町大字中里字古  
屋敷

氏 名

渡 辺 裕 之

生年月日

昭和32年2月生まれ

【採 決】  
全会一致で同意しま  
した。



### 低所得世帯へ 支援金交付

**問** 低所得世帯への7万円支給は、2月頃になるとのことだがもつと早くできないのか。

**答** システム改修が1月になるので年内支給は困難ではあるが、業者に早く改修を進めるように伝え、1日でも早く支給できるようにしたい。

### 中央公民館エア コン交換工事

**問** 2350万円の予算を計上しているが交換工事の内容は。

**答** 老朽化により不具合が生じているため、現在の21台を20台に更新する工事である。

**問** 1台当たりの単価はいくらか。

**答** 予算計上額を単純に台数で割ると1台当たり117万5千円になるが、入札により若干下がるの見込んでいる。



老朽化したエアコン

### 小中学校通学 バス運転業務 委託料増額

**問** 500万円の増額だが、理由は国・県からの指導なのか、あるいは業者からの要望なのか。

**答** 令和5年8月25日付けで東北運輸局長の通知があり、運賃、料金単価の見直しにより、約21%の増額分を予算計上したものである。

### マイナンバー カード氏名 ローマ字表記

**問** マイナンバーカードの氏名にローマ字を表記するための、システム改修業務委託の内容は。

**答** デジタル社会形成整備法の改正により、住民票の氏名にローマ字を追加することに伴うシステムの改修である。令和7年度に住民票及び戸籍の附票にふりがなが表示となり、令和8年度にマイナンバーカードにふりがなが表示となる。

### 教師用図書購入

**問** 浅川小学校教育振興費の教師用図書購入に691万円と高額であるが、今回の補正予算に計上された理由は。

**答** 4年に一度、学校の教科書の改訂があり児童の教科書については、国から無償で供給されるが教師用の図書は、町で購入となるためである。

**問** 4年に一度の改訂と分かっていながら令和5年度の当初予算に計上すべきではないか。

**答** 教科書改訂の流れは、今年度の6月に事務説明会があり、7月に石川地区協議会で提案され、浅川町教育委員会決定となることから補正予算において計上となる。

**問** 支給申請手続きにおいて、スマートフォンからQRコードを読み込んでオンライン申請できるような方法を検討すべきではないか。

**答** 各種申請のオンライン化は職員の事務負担軽減にも有効であるので今後検討したい。

### カーブミラー増設

**問** 交通安全対策費でカーブミラーの工事費153万円が計上されたが、新設と更新の内訳は。

**答** 例年各行政区より設置要望があり、危険箇所にも極力設置することにした。新設が10ヶ所、更新が4ヶ所である。



【おもて面】

### 【採 決】

全会一致で可決しました。

# 明取得がスマホでも

## スマホにアプリを取り込んで

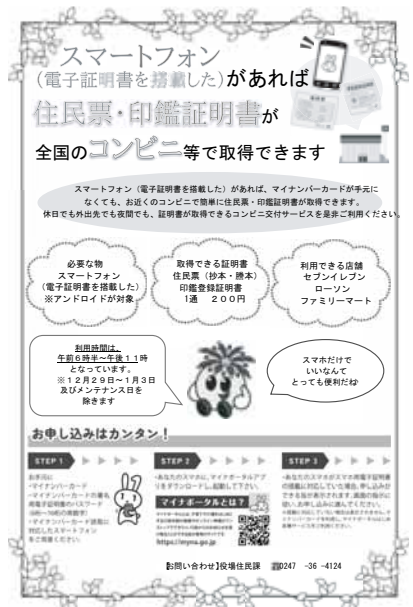
法律の改正に伴い、多機能端末機（コンビニのマルチコピー機等）による印鑑証明書の交付に際し、移動端末設備（スマホ）による交付を可能にするもの。

### 【質疑】

**問** 具体的にはどのようなにしてスマホで印鑑証明書が取れるのか。  
**答** 今のところスマホはアンドロイドに限ら

### 【採決】

全会一致で可決しました。



## 特別職と一般職等の手当・給与等引上げ

### 議員の期末手当引き上げ

福島県人事委員会の勧告により職員の給与や期末手当の支給割合の改正を提案しているので、同様に議員の期末手当を改正するもの。

### 【討論】

— 反対討論 —  
**上野議員** あらゆるものが急激に値上がりし町民の暮らしは厳しくなっている。賃上げは進まず、年金は実質下がりが続いていることを踏まえれば、生活給でもない議員の期末手当を引き上げるようなことは適用する。

### 【採決】

賛成多数で可決しました。

### 町長等の期末手当引き上げ

議員と同様に町長・副町長・教育長の期末手当を引き上げるもの。

**答** 三役あわせると約22万円になる。

### 【質疑】

**問** この改定で議員の期末手当は年間総額でいくら増額になるのか。  
**答** 引き上げ分の総額は約25万円になる。

### 【問】

12月から適用ということは、引き上げ分は追加支給になるというのか。

**答** 追加支払いになる。

### 【質疑】

**問** 3人あわせて1年

# コンビニでの印鑑証

## 【討 論】

― 反対討論 ―

上野議員 議員と違って生活給に関するものではあるが、町民の暮らしの実態を踏まえれば、今引き上げるべきではないので反対する。

― 賛成討論 ―

富永議員 勧告により

引き上げるものである。町長等特別職三役として果たすべき役割は重要であり、その職責に見合った適正な水準に引き上げることは必要なので賛成する。

## 【採 決】

賛成多数で可決しました。

## 職員給与と手当の引き上げ

福島県人事委員会勧告の趣旨にかんがみ、初任給を中心に若年層に重点を置いて給料月額を引き上げ、期末勤奨手当を0・1か月分引き上げるもの。

それぞれ1人平均いくら上がり、手当の増額分は総額ではいくらになるのか。

## 【質 疑】

問 大卒、高卒の初任給はいくらになるのか。

答 大卒は20万5000円、高卒は15万7900円となる。

## 【採 決】

全会一致で可決しました。

## 会計年度職員にも勤奨手当

令和6年度から会計年度任用職員にも勤奨手当を支給することにするもの。

答 その通り。

## 【質 疑】

問 一般職員と同じく年に2回、1か月分ず

全会一致で可決しました。

## 産前産後期間分の国民健康保険税は減免に

子育て世代の負担軽減と次世代育成支援等の観点から、出産する被保険者の産前産後期間の4か月分の所得割額と均等割り額相当分の国保税を減額するもの。令和6年1月1日から適用開始。

分の1、県と町が4分の1ずつということだが、町の負担部分は一般財源で賄うのか。

答 町の負担分は一般財源で負担する。

## 【採 決】

全会一致で可決しました。

## 【質 疑】

問 実現するための費用の負担割合は、国2

## ■ 12月定例会採決一覧

全15議案中13議案は全会一致で可決しました

○賛成 ×反対 議長は採決に加わらない

議案名	須藤孝夫	富永勉	菅野朝興	兼子長一	木田治喜	岡部宗寿	須藤浩二	上野信直	会田哲男	水野秀一	議決結果 (賛成：反対)
議員の期末手当引き上げ	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	可決(8：1)
町長等の期末手当引き上げ	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	可決(8：1)

# 9人の議員が質問

(通告順)

## 1 富永 勉 議員

- (1) まちづくりへの重点課題について
- (2) 持続可能な農業振興について
- (3) 浅川町のDXの取り組みについて

## 2 会田 哲男 議員

- (1) 3才未満児の保育料無料化の実施を
- (2) 高等学校等通学助成金の拡充について
- (3) 町道中田・躰田線の湧水改修について

## 3 兼子 長一 議員

- (1) 町内の交通安全対策について
- (2) 「ゼロカーボンシティ宣言」に伴う取り組みについて

## 4 岡部 宗寿 議員

- (1) ゼロカーボンシティの実現について

## 5 木田 治喜 議員

- (1) インボイス制度による町民生活への影響について
- (2) ゼロカーボンシティ宣言について

## 6 須藤 浩二 議員

- (1) 町道の整備について

## 7 須藤 孝夫 議員

- (1) 県道塙泉崎線大草地内整備推進について
- (2) 各地区集会所・屯所にエアコンを
- (3) 少子化対策について
- (4) 浅川町新庁舎の建設について

## 8 上野 信直 議員

- (1) 指名競争入札の最低制限価格制度は停止すべきではないか
- (2) 高齢になっても楽しく会話ができるよう補聴器購入に助成制度を
- (3) 0～2歳児の保育料の無料化を新年度から実施すべきでは
- (4) 貴重な即身仏を広く輝かせるために計画的な取り組みを
- (5) 多数が売れ残る花火の里ニュータウンにどう取り組むのか
- (6) 各種ハラスメントの防止対策と発生後の対応について伺う

## 9 菅野 朝興 議員

- (1) 里白石字出シから白石へ向かう道路の改善が必要ではないか
- (2) 子供が遊ぶ広場がないのはなぜか

# 町政を問う

一般質問は12月8日に行われ、  
通告した9議員が町長等の考え  
を質しました。傍聴者は1人  
でした。

※一般質問とは  
定例議会において、各議  
員が住民の代表として行政  
全般にわたり町当局の考え  
や疑問をたずねることです。  
また議員にとって政策の  
見直しや政策を提言する重  
要な活動の場です。

※紙面の都合上、通告順の掲載が一部変更になっています。

# まちづくりの重点課題は



富永 勉議員

## 人口減少対策で 移住・定住事業を強化したい

**問** 町は「笑顔あふれる住みよいまち浅川」という将来像の実現に向け様々な施策を推進してきたが、社会環境は大きく変化し、新たな対応が必要であると考へ見解を伺う。

①まちづくりの重点課題と重視すべき施策は。

②人口減少の課題と移住・定住促進の対策は。

③働く場の確保のための企業誘致の考へは。

④町中心街の賑わい創出の取り組みは。

**町長** ①最重要課題としては、人口減少及び少子高齢化の急速な進行であり、これらの対策が急務である。

②人口減少の対策として、移住・定住のイベントのPR活動による知名度の向上、空き家バンクの登録数を増加させ移住・定住事業を強化していく。

③以前より福島県東京事務所やふるさと回帰支援センターへ訪問し、企業誘致に取り組んでいる。在京浅川会や町経営者協会へも企業の紹介を依頼している。

④水郡線サイクルレーインの運行の開始、県道磐城浅川停車場線が国道118号まで延伸される計画となっており、この機会を捉え、駅前の賑わいを取り戻すため、人が集まるような事業を展開していく。



浅川駅前通り

# 次世代への 農業を守る 取り組みは

## 寄り添った支援策を検討 したい

**問** 農業を取り巻く環境は、深刻で困難な状況にある。基幹産業である農業を活性化し、次世代への農業を守るため、持続的な地域づくりに取り組みむべきと考へ見解を伺う。

様々な取り組み方法がある中、本町に合った有効的な方法を検討したい。また、石川管内で協力、連携していきたい。

スマート農業の導入支援により、農作業の省力化やコスト削減、生産性の向上を目指したい。

①有機農業や地域循環型(耕畜連携)農業の現状と今後の対策は。

②肥料・飼料・燃料等の価格高騰による農家の支援策は。

③持続可能な農業を活性化する取り組みは。

②今年度は国の交付金の縮小により、農家を含め町民全体に行き渡る支援を考えている。今後でもできる限り寄り添った支援策を検討したい。

**町長** ①有機農業・耕畜連携の取組みとして、

③地域の担い手の育成や新規就農者への支援に取り組み、担い手等への集約、集積により持続可能な体制を確立していきたい。また、



左右  
小型処理装置  
堆肥マップ

# 3歳未満児の保育料の無料化実施を



会田哲男議員

## 無料化はもう少し待って

**問** 町人口は毎年80〜90人程減少している状況だ。実質賃金の低下等、若い世代の子育て育児の負担は大きいと考える。令和5年度からは3歳未満児の保育料は3分の1に軽減されたところだが、平田村、古殿町、中島村では既に無料化している。今後無料化する市町村は増えるものと考えられる。本町も若者の子育て支援、定住支援、住みたい町づくりと若者の定住、人口減少対策にもつながる3歳未満児の保育料の無料化を実施すべきだ。

**町長** 福祉と教育は衰退させないのが私の目標。次年度実施は大変厳しい。高齢者に対してもそれなりの補助をしなければならぬ。給食費の無料化も実施したところであり、3歳未満児の保育料の無償化は難しい。無償化をしないわけではない。必ず近い将来やりたいと思っているが、来年度はできない。3歳未満児の無料化は、もう少し待っていただきたい。



あさかわこども園

## 高等学校等通学助成金の拡充を

### 今後前向きに検討したい

**問** 令和3年度からの通学助成金一律1万円は有効で保護者負担軽減による子育て支援につながるものだ。しながら汽車通学のみ、汽車とバスの併用等、通学の形態はさまざま

する、助成見込み人数・実績の見込みは。  
③通学形態により定期額はさまざまだ。通学形態による助成金の改善・拡充の考えはな  
いか。

で半年で10万円、年間20万円かかる方もいる。通学定期代には大きな差がある。  
一律1万円を見直し

**町長** ①令和3年度は195人195万円に対して156人156万円。令和4年度は1

上限下限を設け、定期代の何割助成とか、増額・拡充すべき。

①令和3年度、4年度の当初予算の助成対象人数と、予算額に対するそれぞれの実績は。  
②5年度当初予算に対



磐城浅川駅





兼子長一議員

# 町内の交通安全対策は

## 町でできる対策をしていく

**問**

以前から箕輪行政区が要望している町道箕輪一色線と箕輪福井線の交差点に「止まれ」の標識設置及び停止線の表示について、石川警察署の回答では必要性が低いと設置は行わないとのことだが、

車同士による出合頭の事故が多発している。  
 ①石川警察署の必要性が低いとの判断理由は、（現地確認・発生件数の把握）  
 ②この道路は交通量が多く、重大事故が発生することが心配されることから立て看板などの設置を早急に実施すべき。  
 ③あさかわ図書館前の

歩道整備が終わったが横断歩道の設置時期について伺う。

**町長**

①石川警察署は現地を確認している。

必要性が低いとの判断理由は、朝夕の交通量は多いが日中の交通量は少なく、見通しも良いことからでの判断である。

②町交通対策協議会において注意看板設置と指導停止線表示、自発光式のデリネーター等の設置を検討する。  
 ③福島県公安委員会に確認したところ、令和6年3月までに設置する。



箕輪地内の交差点

# ゼロカーボンシティ宣言の取り組みは

## 分かりやすい情報発信に努める

**問**

浅川町はゼロカーボンシティを宣言したが、町民からはどのように行動すればよいのか分からないとの声がある。今後の取り組みについて伺う。

**町長**

①これまででもゴミの減量やリサイクル、節電など一人一人が身近にできる取り組みを周知してきたが、今後もしっかりとした情報発信とさらなる意識の醸成に努めていく。

②株式会社エス・エス・エスからは、再生可能エネルギー導入などの情報収集や分析を行う上でのアドバ  
 ③浅川町における地域の資源の情報収集と分析を行う。  
 ④環境省をはじめ様々な分野にわたっているので、町民や事業者が活用できるものを検討していきたい。

①町民や事業者への周知と啓発及び具体的な活動方法は。  
 ②株式会社エス・エス・エスとの協定書における連携事項を実施する場合、委託料等の費用負担はあるのか。  
 ③町の資源（森林・河川等）活用調査方法と内容は。  
 ④国からの支援にはどのような事業があるのか。



ゼロカーボンシティ宣言

# インボイス制度の町民生活への影響は

## 1千万円以下の事業者は550人



木田治喜議員

**問** 令和5年10月より消費税の計算方式が適格方式に変更となった。課税業者が仕入れ先から適格請求書（インボイス）がもらえないと売上にかかる消費税から経費として仕入れ税額の控除ができないため、課税業者としては納税額が増えてしまうことなど個人事業主を含め、中小企業等に多大な影響が予想される。町民が不利益を被らないように伺う。

① インボイス制度が必要となる背景。  
 ② 町の営業収入・農業収入のある人数及び1千万円以下の人数。  
 ③ 町として守るべきシ

ルバー人材センターへの対応は（補助金増額等）。

**町長** ①インボイス制度は令和元年10月から複数税率が導入されたことに伴い、消費税の適正な課税の確保を図る制度と承知している。  
 ②令和5年度だと営業収入の人数は266人、農業収入の人数は348人で、1千万円以下は営業収入221人、農業収入329人となっている。  
 ③シルバー人材センターから町への要望は今のところない。会員への分配金を維持するため作業単価や事務費を値上げし、発注者に負担してもらい、センターで消費税を納付することで対応している。

**問** 10月12日付けで「浅川町2050ゼロカーボンシティ宣言」が町広報で発表された。温室効果ガスの排出量削減は地球温暖化を防止、気候変動による作物の収穫等に影響を及ぼすことにストップをかける有意義な取組であることは間違いない。今後の取組内容を伺う。

①現状の温室効果ガスの排出量と今後二酸化炭素吸収量の計測方法は。  
 ②改めてゼロカーボンシティ宣言をしたメリットは。  
 ③今後の取り組み計画

できることから取り組んでいく

# ゼロカーボンシティ宣言 今後の取り組みは

及び費用予想は。

**町長** ①町全体の排出量は、環境省が公表している市町村ごとの推計値で把握している。吸収については今後、環境省や県の森林吸収量を参考に算定したい。  
 ②関心の高まりが最大のメリットであり、国の補助事業を活用するうえでも宣言の有無は影響する。  
 ③町はこれまでも地球温暖化対策実行計画に基づき、住宅用太陽光発電設置補助や公共施設照明のLED化、ごみの分別指導など様々

な形で進めてきた。今後はロードマップを作成し、次世代自動車の導入や建築物の高断熱化など、できることから取り組む。コストについてはロードマップ作成の中で盛り込まれたいと思っている。



保健センター ソーラーシステム

# 新庁舎の建設実施計画を



須藤孝夫議員

## 耐震診断の結果を踏まえ 今後方向性を見極めたい

**問** 浅川町庁舎は、昭和34年に建築され築64年が経過し、かなり老朽化が進んでいる。県内で木造の庁舎は、矢祭町と浅川町ぐらいである。ひとたび大きな地震や火災が発生し、この庁舎に被害があったら、災害復旧の拠点となる役場の機能、業務継続に多大なる支障が生じる恐れがある。中学校建設の最中ではあるし、ますます人口減も進んでいるが、計画を立てなければ何も始まらない。新庁舎建設の実施計画を伺う。

**町長** この役場庁舎は、老朽化が進み、至る所を修復している。また、手狭で事務所スペースが十分確保できない状態となっている。平成18年に実施した耐震診断では基準は満たしているが、今回改めて耐震診断を受ける。その結果を踏まえ、今後方向性を見極めたい。

**総務課長** 庁舎の基本計画は策定されていないが、今回の耐震診断の結果によつては、早急な対策が必要になってくるかと思う。古い庁舎の安全性をどう解消するか、今後議論したいと考えている。



## 各地区の集会所・消防 屯所にエアコンの設置を

### 行政区要望を踏まえたうえで 順次対応している

**問** 近年、気候変動により温暖化が進み、各地で熱中症のリスクが高まっている。浅川町も例外ではない。各集会所にエアコンを設置し、サロンなどの活動又は高齢者の憩いの場所として利用できると思う。また、消防屯所

②各消防屯所にエアコンの設置を。

**町長** ①町内には各地区の集会所が21か所あり、3か所にエアコンが設置されている。

だが、火災、災害等はいつ起こるかかわからず、暑い時期に屯所に待機しなければならぬ状態も考えられる。そこで伺う。

②消防屯所は14か所あり8か所にエアコンが設置済みとなっている。いずれも設置のために補助金を交付している。行政区要望を踏まえた上で順次対応したい。

①各地区の集会所にエアコンの設置を。

**総務課長** 環境省は、集会所にエアコンを設置してクーリングシェアターとし、お年寄り

を集めて待機させてくださいということを今後指導して行く方針なので、検討していきたい。



集会所のエアコン

# 高齢者の補聴器購入に 助成制度を

## 来年度からの実施に向け検討する



上野信直議員

**問** 高齢になると耳が遠くなる。介護保険認定調査の対象者約3百人を調べたら、「普通の声をやつと聞こえる」「かなり大きな声なら何とか聞こえる」という方が3割にもなっていたと報告された。そうなっても、引込み思案にならず、積極的に人と楽しく会話ができるようにするのが補聴器だ。補聴器は高価なため、購入の助成制度をつくる自治体が増え、県内では4自治体が2万円〜10万円の補助を実施している。高齢になっても生活の質を落とさないよう補聴器購入助成制度を、新



補聴器

年度から作るべきだと思うが考えを伺う。

**町長** 認知症の要因の一つとして難聴が指摘されている。加齢に伴う難聴は誰にでも起こる可能性があり、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するためには避けられない課題である。本来は医療保険適用にするなど公的支援が必要だと考えるが、ここ数年、補聴器購入助成を実施する自治体が増えているので、国に先駆け、新たな町独自の高齢者支援策として、来年度からの実施に向け、検討していきたい。

# ニュータウン分譲に どう取り組むのか

## 座談会で価格の見直しを 伝えた

**問** 多くの区画が売れ残っている花火の里ニュータウンの分譲あるいは活用について伺う。

①町内の宅地の価格が下落し続けている。売り出し当初のままの花火の里ニュータウンの分譲価格は見直すのか。見直さないとするならば、どうやって分譲するのか。

②滝ノ台団地のような定住・移住促進住宅をさらに作る考えはあるのか。この際、町への移住者を増やすという点で滝ノ台団地の成果はどうなっているかも

伺う。

**町長** ①11月28日に花火の里ニュータウン座談会を開催した。座談会では今後の販売方法について多くの意見をお聞きし、販売が進まない要因は市場価格と比べ割高になっていると考えているので販売価格の見直しを行うことをお伝えした。今後の販売価格は専門家の鑑定等を参考に決定したい。

②滝ノ台団地の成果としては、これまでに建築した4戸に対し5世帯が浅川町に移住し、うち2世帯については退去後、町内に住宅を取得して定住している。

**企画商工課長** 来年度の予算で不動産鑑定をお願いし、来年度中に価格を決定したい。

②滝ノ台団地の成果としては、これまでに建築した4戸に対し5世帯が浅川町に移住し、うち2世帯については退去後、町内に住宅を取得して定住している。



# 町道小野久保出シ線の改善を



菅野朝興議員

## 必要に応じて対処する

**問** 里白石の旧ゴミ捨て場の入口から白石・小野久保方面へ抜ける道がある。この道路は、途中山を切り出している所を通過するが、一車線しかなく見通しも悪い。最近では、長年の浸食により崩落の危険もあるように見受けられる。何点か伺う。

①より安全な道路が必要ではないか。

②新たに現在の道路の下の田んぼに新しい道路を作った方が良いのではないか。

**町長** ①町道小野久保出シ線については、近年の豪雨により砂利道箇所の一部で砂利の流出が見られ、補修などを行っている。再度道路パトロールにより斜面の浸食や崩落の危険がないかなども詳しく調査し、必要に応じて対処していく。また今後は、損傷の激しい箇所の現道を部分的に補修するなどして、管理したい。

②新しい道路は、今すぐに答えは出ないが、前向きに検討したいと思う。



# 町内のグラウンドで子供が自由に遊べないのはなぜか

## 条例により自由には使用できない

**問** 子供を持つ町民の方々から、「子供が遊ぶ広場がない」「町内ではキャッチボールをするところもない」というような意見が多数聞かれる。町内にはグラウンドがあるので、申込み以外でも使用できるような、すみ分けができないか。グラウンドを分けるような大きな網のカーテンを用意するなどして、一部は自由な空間として開放できないか。知恵を出して活用できると思うが伺う。

**町長** 浅川町民グラウンドの使用については、浅川町体育施設条例第5条に基づき、教育委員会の許可を受けなければならない。また旧里小山小についても町民グラウンドと同様の取扱いをしている。申込み以外では、グラウンドを自由に使用できるようにすることは原則できないものと考えている。



旧里小グラウンド

# ゼロカーボンシティ宣言の理由は

## 地球温暖化対策推進法で 地方公共団体の義務に



岡部宗寿議員

**問** 浅川町は、10月12日、株式会社とゼロカーボンシティの実現に向け包括連携協定を締結しゼロカーボンシティ宣言をした。二酸化炭素排出実質ゼロの自治体になれるよう私も応援したいと思う。それを踏まえ3点ほど伺う。

**町長** ①町長が進めるゼロカーボンシティを宣言した理由を伺う。  
②水道水を利用した管路用マイクロ水力発電システムは、ゼロカーボンにつながるのではないか。  
③森林は二酸化炭素を吸収するので里山を守るための自然環境保全条例があれば良いと思うが。



包括的連携協定

**町長** ①令和3年5月に地球温暖化対策推進法が改正され、地方公共団体にも策定が義務付けられた。浅川町も令和元年台風の被害を受けたことで策定に至った。今年度、中央公民館で空調設備の更新をするが、地域まるごと省エネ計画が策定されているので補助の対象となっている。②水道水を利用した水力発電は本当にいいことだと思う、今後も検討課題にしたい。  
③森林や里山の整備保全は、二酸化炭素吸収のためには重要だと思う。検討課題にしたい。

# 里白石関沢前地内の 道路整備事業の今後は

## 令和6年10月には工事に着手したい



須藤浩二議員

**問** 今年度予算で測量が実施され、今後新設に向けて進む里白石関沢前地内の道路整備事業について伺う。

**町長** ①目標とする完成年度はいつなのか。(暫定でもかまわないので、完成に向けた実施計画を教えてください)  
②財源はどのように考えているのか。

**再質問** ①地元住民の合意形成と測量の順番がおかしいのではないかと。  
②財源に関してだが、ひとつの財源で2つの路線をいじるのではなく、一路線の整備が完成したのちに次の路線に行くのが望ましいのではないかと。

**町長** ①4年ほど前から地主さんには何回か説明している。  
②社会資本整備総合交付金は、3割か4割しかこないため一向に進まない。増額してもらえないように県や国に年に数回陳情している。



# 研修

してきました

## 議会活動として 各種研修に出席しました

### 町村議会議員研修

令和5年10月23日にビッグパレットふくしまにおいて、福島県町村議会議長会主催による議員研修会が開催されました。「町村議会議員のあり方と議会改革・議会活性化のための議員活動」と題して、東京大学大学院政治学

研究科教授金井利之氏の講演と、「これからの政局・政治の行方」と題した、著名なジャーナリストの岩田公雄氏の講演を聴講しました。町村議会のあり方、議会改革のあり方等について研修しました。



### 石川地方町村議会議員研修

令和5年11月7日に石川地方町村議会議長会主催により玉川村の「マーヴェラス末広」で開催されました。福島大学教授川崎興太氏による「福島復興の到達点と展望」と題し、原発事故からの12年間と復興に向けた課題について聴講しました。講演会終了後には活発な質問、意見の交換がなされました。



# 各種町行事への積極的な参加

## 在京浅川会総会へ出席



令和5年11月18日に、上野精養軒で開催されました。袖山出身の関根一男会長を含む在京浅川会会員34名と、浅川町からは江田町長、真田教育長、水野町議会議長等の議員9名と白川農業委員会会長、

小宅商工会会長、金澤商工会事務局長、両町青年会会長と会計等21名が出席しました。令和4年度事業経過報告と収支決算報告、定期総会の開催、ふるさと訪問の旅の実施、浅川会会報の発行、浅川花

火大会への協賛等の令和5年度事業計画と予算が提案され、満場一致で原案通り決定されました。総会終了後懇親会が行われ、大変盛り上がりしました。

## ふくしま駅伝の応援

令和5年11月19日に開催されたふくしま駅伝応援のため、白河市と矢吹町に駆けつけました。浅川町選手の活躍を願う花火の里あさかわの法被を着て旗を振り、議員一同で、一生懸命応援してきました。

選手の皆様は日々の練習の成果と力を発揮し、町の部8位となり、4年連続の入賞を成し遂げました。ひたむきに走るその姿と躍動に、町民みんなが大きな感動をもらいました。



1区の先頭集団を走る円谷仁渚選手（ゼッケン23）



## 浅川中学校新築工事の視察

12月11日の議会終了後に浅川中学校新築工事の進捗状況等を視察・確認しました。工事担当者からの説明を聞くとともに、議員からも工事に騒音等に係る質問等がなされ、授業に影響するような騒音は出ていないこと、また工事は概ね順調に進んでいることが確認されました。



## 消防出初式へ出席

令和6年1月7日に開催されました。出初めに先立ち浅川駅前での浅川町消防団の観閲式が9時30分から、場所を変えて9時50分からは出初式が浅川小学校の校庭で開催されました。町民の生命と財産を守るための、団員皆様の日ごろの訓練が、規律ある動きで披露されました。その姿は、私たち議員一同、火災・災害への予防と対応に安全・安心の確信を強く持てるものでした。



## 二十歳を祝う会へ出席

令和6年1月7日 主催者挨拶では町午前11時30分から64名の出席者により開催されました。開会前には懐かしそうに、楽しく歓談する姿が多くみられました。来賓として浅中3年生時の担任の3名の先生と町議員らが招待され、国歌斉唱に始まり、二十歳証書と記念品が代表の水野莉矩さん、岡田愛梨さんに町長より授与されました。

代表して鈴木稜さんが「自覚と責任を持ち日々成長したい」と誓いの言葉を述べ、二十歳を祝う会は、次第により滞りなく進行され、終了後は皆で記念撮影をしました。



# レポート 追跡

## あの提言はどうなってるの？

# フォトコンテストの実施を



### 令和4年6月定例会

**答**

大勢の方に町の魅力を知ってもらおう開催は有意義である。来年度中には必ず開催したい。

**問**

町の隠れた魅力を表に引き出すフォトコンテストを開催すべき。出品された写真を町のPRに活用し、人口減少対策とする考えは。

# 有償ボランティア制度の取組みを

令和5年12月事業開始

浅川ささえたい 生活体制整備事業

ありがとうございますお互い様事業  
有償ボランティアの募集!!

この事業は、町内で暮らしている一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方を対象に、ちょっとした生活の困りごとをお手伝いしてもらったり、一緒にやってみてもらったりすることで、助け合いのできる地域づくりを目指しています。

登録制で、30分単位から200円で利用できる  
ボランティア活動に御協力ください。

**○ボランティア活動の要件**  
18歳以上の浅川町に居住する方で、ボランティア活動に興味・関心があり、ありがとうございますお互い様事業を理解し、お手伝いできる方

**○お手伝いの内容** (1回1時間)  
ごみの分別ごみ出し  
家事(掃除、洗濯干し)取り込み、簡単な調理  
買い物代行(日常生活品の購入代行)  
車出し  
雪かき・灯油入れ など

**○申込みからボランティア活動開始までの流れ**  
① 養成講座等を受講し、活動内容の説明を受け、会員登録。  
※ボランティア登録の取入(事務総務担当)  
② 事務局でお手伝いの内容を把握して、会員の方に登録。  
③ お手伝いを開始。翌月に事務局に報告書提出、活動費を受け取る。

＜お問合せ先＞  
浅川町地域福祉支援センター ☎0247-36-4723  
浅川町社会福祉協議会 ☎0247-36-3163

### 令和5年9月定例会

**答**

有償ボランティア養成講座を開催し、ボランティアの募集登録をして事業を開始したい。

**問**

ひとり暮らし高齢者や高齢世帯のゴミ出し、家事などを支援するための有償ボランティア制度は重要であるが現在の取組み状況は。

# ふるさと 写真館

Vol.27  
*Photograph*

## 交流のページ



昭和50年代 幼稚園もちつき大会／浅川町所蔵

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-11182



昭和39年 大草分校人文字／大草行政区所蔵

# 町民の声

## 町の資源を活用し町に 興味を持ってもらうパン作り

ヴァロワール コンドウ  
vaLoir kondo

近藤 淳さん

近藤淳さん・由喜江さん  
ご夫妻



vaLoirとして店舗を構え、早いもので15年が経過しました。元々は学校給食のパン、ご飯の提供を中心に営業していましたが、パン職人として、お客様の喜ぶ顔がより近く感じられるよう、店舗を構えたところです。移転、出店、機械の導入等、商工会をはじめ様々なところからアドバイスや支援を受け、安定的な営業を続けられています。ただ将来的にみると、原材料・燃料等の価格

高騰、人口減少などさまざまな不安があります。10年、20年先まで現状維持ができるとは思えません。新商品開発、情報発信などをしたとしても個人でできることには限界があります。町にある資源、商工業、農畜産業、スポーツ、芸術等を単体ではなく複合的に活用し、一人でも多くの人に浅川町に興味を持ってもらう取り組みをもっとやっていかなければと思います。まずは自身の足元から、みなさんにとって価値のあるパンを焼いていきます。



### 議会傍聴においでください

次の定例会は3月4日(月)～12日(火)までです  
「一般質問」は3月5日(火)9時～の予定です

議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます  
問い合わせは議会事務局まで TEL 36-1182

#### 編集後記

今や災害は忘れず  
にやってくる。年初  
から北陸で甚大な災  
害が発生し、多くの  
犠牲を払い心が痛み  
ます。

東日本大震災原発  
事故から13年が経ち、  
私たちはあの時の支  
援の感謝を決して忘  
れません。

改めて、防災・減  
災の対策について考  
えさせられました。  
危機感を持って取り  
組んで参ります。皆  
様も災害への備えを  
お願いします。

富永 勉

- ◆広報特別委員会◆
- 委員長 会田哲男
- 副委員長 富永 勉
- 委員 上野信直
- 委員 兼子長一
- 委員 菅野朝興
- 委員 須藤孝夫